

5. 事業報告

◆ 個人貸出サービス

<貸出室・一般図書コーナー>

令和6年度の個人有効登録者数は2.8%減少。継続貸出を除いた成人書の個人貸出冊数は4.9%減少。年齢別貸出人数（15歳以上）は3.5%減少している。個人予約件数は5.5%減少、Webサイトでの予約は4.4%減少した。これらの要因としては蛭池図書館のリニューアル工事および図書館コンピュータシステムの更新による休館の影響が考えられる。

電子書籍の貸出サービスについても引き続きコンテンツの充実に努めた。

- | | | |
|--------------------------------|----------------------|--------------------------|
| ■登録率 32.3% | ■個人有効登録者数 128,582 人 | ■年齢別貸出人数（15歳以上）786,149 人 |
| ■継続貸出を除く個人貸出冊数（成人書）1,561,699 冊 | ■個人予約件数 945,402 件 | |
| ■個人予約件数（Web+携帯）820,763 件 | ■個人予約件数（館内）124,639 件 | |
| ■デジタル図書館貸出冊数 29,937 冊 | | |

<こども室・児童書コーナー>

14歳以下の個人有効登録者数は2.8%の減少、年齢別貸出人数は9.7%減少した。また、児童書の貸出冊数は7.7%の減少、個人貸出冊数は8.3%減少した。



岡町図書館 貸出室内コーナー

新たな取り組みとしては、岡町、野畑、東豊中図書館において環境交流センター主催で子ども服のリユース「おゆずりぐるり」を実施した。イベントをきっかけとして初めて来館された方もおられ、2025年度も実施を予定している。

岡町図書館では、平日17時のこども室閉室後も、親子で過ごしてもらえるコーナーを貸出室内に新設。子ども用の机や椅子と共に絵本を設置し、19時までの夜間開館時間もゆっくり楽しんでいただけるようしつらえている。

蛭池図書館は休館中も含め、年度を通して社会教育課・蛭池公民館と連携事業を実施。「絵本好きなママパパ集まれ 赤ちゃんと参加する絵本サロン」では、国指定名勝の西山氏庭園を眺めながら、和室でゆったりとおはなし会や絵本の紹介を楽しんだり、蛭池公民館で手作りの絵本を作成したり、お互いに絵本を読み合うなど、参加者同士で交流し合ったりした。その他、調理実習とその料理にまつわるブックトークを楽しむ「作って読んでレベルアップ 料理クエスト」や、保護者の交流会や子育て中に役立つ情報の各種講座をおこなう「地域でパパママのつながりをつくる連続講座・子育て部」を実施した。

野畑図書館に豊中千里ライオンズクラブから、図書や手荷物などを入れて館内を移動できるミニカートと、キッズマットの寄贈があった。キッズマットは、こども室の乳幼児スペースとして活用している。

- | |
|-----------------------------------|
| ■個人有効登録者数（14歳以下）19,571 人 |
| ■年齢別貸出人数（14歳以下）140,592 人 |
| ■継続貸出を除く貸出冊数（児童書、団体含む）1,109,217 冊 |
| ■継続貸出を除く個人貸出冊数（児童書）1,029,325 冊 |

◆ 図書館で一時保育 ～ほっと一息 私の時間～

月に1回午前に2時間、保育士が子どもを預かることで、子育て中の方が館内で本を選んだり読んだり、一息つける時間をサポートしている。対象は生後7か月から未就学児、定員は各回6～12人、保育料は550円（税込）。令和6年度は、各館1名ずつ保育士を増員することで定員を増やし、岡町・千里・野畑の3館で計36回実施した。また、5つの市の視察を受け入れた。

◆ 高齢者サービス

令和3年3月に図書館協議会から提出された「豊中市立図書館における高齢者サービスのあり方について（報告書）」を踏まえ、高齢者が社会・地域とつながり、人生をより豊かに生きる社会の実現に向けて、以下のように取り組んできた。

施設の環境面ではバリアフリー化に加え、車いす・老眼鏡・リーディングループ・拡大読書器の貸出、血圧測定器・磁気ループの設置など、各図書館の施設環境に応じて整備・提供している。また、市内を巡回する動く図書館には、車いす用電動リフトを搭載している。

図書館資料としては大活字本や朗読CDを所蔵。庄内図書館の「シニアライフ応援コーナー」、蛍池図書館の「人生100年を考えるコーナー」、岡町図書館の「医療・健康情報コーナー」では高齢者のニーズが高い資料を1か所に集約し、探しやすい資料配置としている。また、市内の高齢者施設7団体にリサイクル図書341冊を譲渡した。施設職員によって高齢者向けのおはなし会がおこなわれている施設もあり、紙芝居も含めさまざまな図書館資料を貸出している。豊中市デジタル図書館においても、健康・食生活・介護などの関連テーマや、シニア向けのデジタル機器・旅行・生活・趣味の本やエッセイなど、高齢者をターゲットにした電子書籍を提供している。電子書籍は文字の拡大や白黒反転、読み上げ機能など高齢者が利用しやすい補助機能を持つものが多い。また、インターネット経由でどこでも利用できるため、来館が困難な高齢者もアクセスしやすい。今後、電子書籍についても資料の充実と利用の拡大を図っていく。

連携事業としては各図書館（岡町・庄内・千里・野畑・東豊中）で、長寿安心課および豊中市キャラバン・メイト連絡会と共催し、「認知症サポーター養成講座」を5回実施した。同講座では関連図書の展示・貸出や、図書館職員による医療・健康情報のメディアリテラシーについての啓発活動もおこなった。高川図書館では緑地地域包括支援センター高川分室との共催で月1回認知症予防のための「高川ほっと愛カフェ」（10月より「よってほっと高川」に名称変更）を実施。8月には小学生対象の「認知症サポーター養成講座」を開催、11月には認知症の高齢者の人権に関する図書の展示・貸出をおこなった。

◆ ヤングアダルト（YA）サービス

ヤングアダルト（YA）とは、主に中学生・高校生（12～18歳）の世代をさす。

例年の取り組みとして、とよなか男女共同参画推進センターすてっぴやエリアの小・中学校との連携展示をおこなう館が多い。

岡町、庄内図書館では、刀根山高校「探究」授業のインタビュー協力、箕面自由学園高校ボランティアの受け入れもおこなった。千里図書館ではYAらぼ（YA世代のボランティア）の活動として、「YAらぼ！おはなし会」



すてっぷとの連携展示
(千里図書館)

を3回開催、新規メンバーもおはなし会デビューし、絵本の読み聞かせを通じて子どもたちやその保護者との交流の機会をもった。東豊中図書館では第十五中学校だよりにより図書館紹介を寄稿した。

- 個人有効登録者数 (12～17歳) 13,196人 (18～21歳) 5,138人
- 年齢別貸出人数 (12～17歳) 40,441人 (18～21歳) 10,301人

おもな取り組み		実施館
高校情報パンフレット展示と配布		全館
豊中高校ボランティア「志学」の受入れ		岡町、千里図書館
中学生職場体験学習おすすめ本POP作成・展示		岡町、庄内、野畑図書館
おもな取り組み		実施館
とよなか男女共同参画推進センターすてっぷとの連携展示「自由な発想でなりたい自分をデザインしよう！」		岡町、千里、高川、蛍池図書館
各館の取り組み		
とよなかつ子ラインにて司書のおすすめ本を紹介／原田小学校6年生平和学習の作品展示／刀根山高校「探究」授業のインタビュー協力／箕面自由学園高校ボランティアの受入れ		岡町図書館
庄内さくら学園美術部員によるブラックボード制作／刀根山高校「探究」授業のインタビュー協力		庄内図書館
YAらぼ(YA!BOOKS 通信発行・おすすめ本POP展示・おはなし会・イベント補助)／千里青雲高校図書委員によるおすすめ本POP展示／市内高校および私立中学への学校訪問／せりひひとつなぎフェス「中高生のブックマルシェ」参加		千里図書館
おすすめ本POP展示／「中学生のおすすめ続々」		野畑図書館
小中学校(東泉丘、泉丘、東豊台、東豊中中学校・第十五、第十七中学校)連携巡回POP展示／第十五中学校だより「一期一会」第15号の裏面で図書館紹介を寄稿		東豊中図書館
第十二中学校生徒によるエリア内小学校での紙芝居会への資料提供、後日生徒の感想を展示／エリア内の小中学校と連携し夏休み中にスタンプラリーを実施／第十二中学校生徒おすすめ本コーナーを設置		高川図書館

◆ 多世代交流

令和4年6月策定の豊中市基本政策の柱の1つである「いきいきと暮らせるまち とよなか」の実現を目指し、図書館では世代を超えて地域住民が交流できる機会の創出に取り組んでいる。

高川図書館では、高川介護予防センターと共催で「まごころサロン」を年4回実施。地域の高齢者が講師となり全世代を対象とした七夕や折り紙教室などをおこなうことで、世代間交流が生まれている。高齢者にとっては、特技や経験を活かして若い世代とつながることで毎日の暮らしに張り合いを持ち健康な心身を保つ一助となり、子育て世代にとっては、地域住民と出会うことで街ぐるみで子育てを応援し見守ってもらっているという安心感を得るきっかけとなっている。

◆ レファレンスサービス

資料をつかって、日常の疑問や仕事に必要な情報など、市民のさまざまな調べもののサポートをしている。関連機関や相談窓口・専門家の紹介もおこなう。質問は対面のほか、「e-レファレンス」としてオンラインでも受け付けている。



レファレンス協同データベース事業への貢献に対して国立国会図書館長から贈られた御礼状

レファレンス記録の一部は国立国会図書館レファレンス協同データベースへ登録し、Webサイトで一般公開している。令和6年度に登録したレファレンス事例のうち最も閲覧された事例は、『トンボは前にしか進まない』と聞いたことがあるがそのことが書いてある本はあるか。』であった。

回答にあたっては、国立国会図書館や大阪府立図書館など他の図書館のレファレンスや協力貸出の利用をはじめ、国立国会図書館デジタルコレクション、新聞記事や辞事典のオンラインデータベースなど、インターネットの情報も参照し、内容の充実を図っている。

今後も紙、デジタル双方の資料を活用して、市民から寄せられる多様なレファレンスに対応していく。

◆ 行政へのサービス（庁内仕事応援事業）

庁内各部局に対する資料の貸出やレファレンスサービスに加え、ブックリストの配布や庁内サイトへの掲示により、各職階の新任職員研修や課題研修で関係資料の紹介などの情報提供をおこなっている。レファレンスでは、先行事例関連の新聞記事などの調査や、課内研修の参考資料の調査などの依頼があった。

◆ 団体へのサービス

学校、放課後子どもクラブ、幼稚園、保育所（園）、こども園、高齢者施設、障害者施設や、子ども文庫、おはなしボランティアグループ、読書会などの市内の活動グループに資料貸出などの支援をおこなっている。

<学校図書館>

学校内での児童・生徒のリクエスト対応の支援や、調べ学習に使用する資料の提供などを実施している。公共図書館司書と学校司書との地域館交流会は年に2回開催。公共・学校間およびエリアの学校間での情報交換などをおこない、連携事業を進めている。

野畑図書館では、台紙に書かれたヒントを手掛かりに、児童室の書架に貼られた文字を探す「ぶんるいウォークラリー」を学校図書館と連携して実施。普段図書館を利用していない層の来館にも繋がった。

令和6年度は小中学校図書館への貸出冊数は前年比1.8%増。

■小中学校図書館への貸出冊数 46,721冊

<学校図書館支援ライブラリー>

学校図書館の「読書」「学習・情報」「教員支援」の3つの機能をサポートしている。

令和6年度は、新たに「漢字辞典」を40冊購入し、図鑑セットに加えた。また、サポートパックについても、「災害」パックを「防災」と「災害の記録」に分けたり、「修学旅行」パックを解体するなど、学校図書館のニーズに応える形で、テーマやそれぞれの内容全般を見直し、必要とされる資料、新たな資料を購入し、資料の充実を図った。

<幼稚園・保育所（園）・こども園・放課後こどもクラブなど>

幼稚園・保育所（園）・こども園・家庭保育所・認可外保育施設に団体貸出をおこなっている。各施設の相談に応じ、選書などの支援をしている。季節や行事などに関係する資料や、平和・家族・仕事などのテーマの資料に関するリクエストも多い。

また、放課後こどもクラブへは、申込があった21校に団体リサイクル本「ひと箱おまかせパック」を配達した。

<子ども文庫>

市内の子ども文庫は14文庫。そのうち「豊中子ども文庫連絡会（豊子連）」加入は9文庫。それぞれの地域で子どもに本を手渡し、子どもの育ちを見守る活動が続けられている。子どもの身近な居場所として、また、子どもをとりまく大人の交流の場として地域に根づいている。図書館は長期の団体貸出や必要なテーマの資料を提供するなど、文庫活動の支援に努めている。「子どもと本のまつり」（共催：豊子連）は7月に開催。6つのおはなし会と手作り工作をおこなった。国際交流の会とよなか（TIFA）の協力のもと、スワヒリ語とウルドゥー語による多言語おはなし会も実施した。「子どもと本のつどい」（共催：豊子連）では、絵本作家のはたこうしろうさんを講師に「絵本で遊ぶ 地球と遊ぶ おはなし会」を11月に開催した。



子どもと本のまつり



子どもと本のつどい



おはなしボランティア
フォローアップ研修講座

<おはなしボランティア>

令和6年度も多くボランティアグループがおはなし会の回数や人数などに応じたプログラム作りを工夫し、図書館では選書や打ち合わせの機会に相談を受けるなど活動をサポートしている。図書館に関連する各グループの活動内容については「市民との取り組み事業」（9ページ）を参照。岡町図書館では「子どもと本をつなぐボランティア講座」（全6回）を実施したほか、「おはなしボランティアフォローアップ研修講座」として、絵本作家の田島征彦さんによる講演「絵本で伝えたいこと～田島征彦の仕事～」を開催した。

<「りんごの棚」展示セット>

特別なニーズのある子どもたちの読書の手段を知るために「りんごの棚*」展示セットの貸出をおこなっている。9校の小中学校のほか、こども園や図書館など計17回展示がおこなわれた。平和月間・人権月間に合わせた活用のほか、図書の時間や人権学習の際に紹介された。「生徒の関心は高く、来館する生徒のほとんどが資料を手にとっていた。」「『りんごの棚』を知らなかった人が多く、実際に手に取ってもらえて良かった。」などの声が寄せられた。外国にルーツがある親子など、特別なニーズのある子どもたちに資料を届けるきっかけにもなっており、好評を得ている。

* スウェーデン生まれの「特別なニーズのある子どもたちのための資料を展示した棚」。すべての子どもに読書の楽しさを知ってもらうことが目的で、世界各地に広がっている。

◆ 障害者サービス

障害福祉センターひまわりとの共催で、夏休みに小学生とその保護者を対象に「おやこ点字体験教室」を開催した。普段点字に触れることの少ない子どもたちが自ら点字を打ち、様々な資料にふれる体験を通し、視覚障害者やボランティア活動への理解が深まる機会とした。また音訳ボランティアのスキル向上を目的とした「音訳ボランティアフォローアップ講座」を例年通り実施した。

音点訳図書の製作候補の選定にあたっては個別に聞き取りをし、利用者のリクエストも反映した。製作されたデータは豊中市立図書館から国立国会図書館・サピエ図書館^{*1}を通して提供しており、新作の音声デジタイズ図書^{*2}はすぐにリクエストが入るなど全国の利用者からのニーズも高い。また、個々のリクエストに応えるため所蔵のない音点訳図書については別途、各ボランティアに製作を依頼した。

点訳については外部機関に印刷（墨字）図書のテキストデータ化を依頼し、図書館で点字データに変換後、製作ボランティアの校正を経て点字図書を製作するなど、関係機関との連携もおこなった。

Daigas グループ小さな灯運動からプレクストーク PTN3^{*3}、伊藤忠記念財団からマルチメディアデジタイズ図書「わいわい文庫」の寄贈があった。

また、点字図書を広く知ってもらうための展示を岡町図書館でおこない、障害者サービスの対象ではない来館者からも関心を持ってもらうきっかけとなった。

今後も多様化するニーズに応えられるようサービスの提供に努める。

*1 音点訳図書をはじめとする障害者用資料の所蔵施設などが調べられる全国的な書誌データベース。

*2 音声情報を圧縮して記録した録音図書。

*3 視覚に障害のある人などが読書するための卓上型音声デジタイズ図書再生機。

◆ 暮らしの課題解決

図書館では市民生活のうえで特に関心の高い課題として、4つのテーマ「医療・健康情報（岡町）」・「多文化共生（庄内）」・「ビジネス・就労（千里）」・「子育て・DV（野畑）」を設定している。講座や催しを実施され、資料収集や情報提供などを引き続き工夫しておこなった。

各テーマごとの取組み（市民協働事業については別途掲載 9 ページ）	
医療・健康情報	・認知症サポーター養成講座（5 回 会場：岡町、庄内、千里、野畑、東豊中図書館 共催：長寿安心課・豊中市キャラバンメイト連絡会） ・小学生対象の認知症サポーター養成講座（会場：高川図書館 共催：緑地地域包括支援センター高川分室） ・「2025 年大阪・関西万博に向かってめざそう！『10 歳若返り』展示」（市内 8 館で巡回展示 令和 5 年 10 月～令和 6 年 5 月） ・図書館 Web サイト上の闘病記リストの更新
多文化共生	・とよなか国際交流協会を通して、市内在住の外国語を母語とする人へ読みたい本・必要とする本（外国語で書かれたもの）のニーズ調査を実施 ・庄内図書館常設展示「ヒトハコ図書館」で外国語の子どもの本を展示・貸出と多文化共生コーナーに「読みたい本を教えてください投函箱」の設置 ・パスファインダー「がいこくじんのためのせいかつがいど」改訂 ・とよなか国際交流協会への外国語資料の配本・貸出 ・やさしい日本語図書館見学ツアー 「日本語教室」（会場：庄内公民館 主催：とよなか国際交流協会）参加者に向けて、図書館の利用説明と案内 ・しょうない REK カフェ行事開催に係る関連図書と民族衣装の展示 ・多文化共生に関するアンケートの実施（外国語を母語とし、豊中で居住または学習、勤務している方々を対象 実施人数：78 名）
ビジネス・就労	・千里図書館ビジネス・就労支援コーナーにて月替わりのテーマ展示を実施 ・資格・検定・職業情報コーナーを新設 ・豊中しごと・くらしセンター開催のイベントにて就労支援関連図書の展示・貸出
子育て・DV	・「図書館で一時保育～ほっと一息 私の時間～」を実施（会場：岡町、千里、野畑図書館） ・児童養護施設パネル展と関連図書の展示・貸出 （会場：岡町図書館 主催：児童養護施設・大阪水上隣保館 翼）

◆ 図書館

利倉西センター図書室には約 5,500 冊の資料があり、週 2 回午後 2 時から午後 5 時まで開室している。猪名川の西側にある共同利用施設利倉西センターに併設しており、利倉西町 1 丁目・2 丁目にお住まいの方を中心に利用されている。

■貸出人数 2,136 人 ■継続貸出を除く個人貸出冊数 6,730 冊

◆ 図書サービスポイント

いぶき（3 階）図書サービスポイントは、青少年交流文化館いぶき内にて、週 2 回午後 1 時 15 分から午後 4 時 45 分までサービスを提供。サービス内容は、予約資料の貸出・資料の返却・リクエスト票の受付などである。

豊中駅図書サービスポイントは、阪急電鉄宝塚線豊中駅舎内の北改札口前にて、予約資料の貸出と資料の返却に特化したサービスを提供している。図書館職員は常駐せず、利用者はセルフ貸出機を使っての利用となる。図書サービスポイントを利便性の高い交通結節点に設置することで、図書館を利用していなかった人や利用が難しかった人の利用が促進されている。

また、蛍池図書館の内装改修工事にともなうサービス停止の影響は、距離的に近い豊中駅図書サービスポイントでの貸出冊数や返却冊数の増加傾向を見ると、ある程度抑えられたのではないかと考えられる。

令和 6 年 11 月に豊中駅図書サービスポイントで来館者アンケートを実施し、ご意見を受け荷物置き場の増設や予約本置き場の配置見直しなどをおこなった。

[いぶき（3 階）図書サービスポイント]

■貸出人数 2,468 人 ■継続貸出を除く個人貸出冊数 5,274 冊

[豊中駅図書サービスポイント]

■貸出人数 44,399 人 ■継続貸出を除く個人貸出冊数 84,707 冊

◆ 動く図書館「とよ1ぶっくる」による巡回サービス

図書館から離れたエリアや来館が困難な子どもたちの通う児童発達支援施設など合計 19 か所へ、動く図書館車で約 4 週間に 1 回ずつ巡回サービスをおこなった。

「豊松園ハイツ」はマンション工事のため令和 6 年 7 月から 7 か月間、動く図書館車の乗り入れができず、配本車で予約資料の貸出と返却のみおこなった。また「堀田公園」については令和 6 年 11 月以降、雨天時のグラウンド使用が不可となり、令和 7 年 3 月巡回をもって同ステーションへの巡回は終了、4 月以降は近隣の「梅花中学校・高等学校円形校舎前」へステーションを移転した。



配本車での豊松園ハイツ巡回



あおぞらおはなし会月間

暑さが和らぐ 10～11 月には「あおぞらおはなし会月間」を実施した。天候やスペースなどの面で可能な合計 10 か所のステーションで、巡回日におはなし会も実施、大人 39 名・子ども 58 名・合計 97 名の方に参加いただき好評だった。うち 2 か所（「朝日プラザ」・「都市緑化植物園」）はおはなしボランティアポケットの方に出演いただいた。

施設巡回については「豊中支援学校」と「児童発達支援センター」の 2 か所を巡回した。「豊中支援学校」では小学生から高校生までの児童生徒が昼休みの時間帯に利用しており、毎月大勢の子どもたちで賑わっている。また、豊中支援学校・児童発達支援センターで令和 7 年 1～2 月に「おはなし会がやってきた！」をおはなしグループミックス JAM・おはなしボランティアポケット・図書館職員でおこなった。プログラムにはパネルシアター、手遊びや歌も取り入れた。

■貸出人数 6,679 人 ■継続貸出を除く個人貸出冊数 44,356 冊